

(仮訳)

ミャンマー地震への対応に関する日米豪印共同声明

- 1 以下は、豪州、インド、日本及び米国政府による共同声明である。
- 2 我々は、2025年3月28日にミャンマー中部で発生した地震に対し、ミャンマーとタイの人々に深い哀悼の意を表す。
- 3 多くの人命が失われ、負傷者が発生し、インフラが広範囲にわたり破壊されたことにより、既に悲惨なミャンマーの人的状況を更に悪化させている。
- 4 我々は、一時的かつ部分的な停戦に対する最近のコミットメントを歓迎し、全ての当事者に対し、ミャンマー全土において、命を救う人道支援の提供をタイムリーに行うことができるような安全かつ助長的な環境を提供するため、これらの措置を実施、延長及び拡大するよう求める。我々は、3月29日及び30日のASEAN外相声明並びにASEAN及び域内諸国による被災地域への支援を歓迎する。
- 5 我々日米豪印のパートナーは、これまでに総額約2,000万米ドルを超える人道支援にコミットしている。我々の資金援助と二国間の取組を通じ、救援物資を届け、緊急医療チームを派遣し、ミャンマーで被災者の支援に当たる人道パートナーを支援している。
- 6 日米豪印は、我々の対応が効果的かつ効率的に援助を分配し、被災した地域社会のニーズを満たすことを確実にするための取組を調整している。日米豪印の人道支援・災害救援パートナーシップは、ASEAN防災人道支援調整センターなど他のパートナーと緊密に協力している調整グループを設立した。
- 7 日米豪印の協力は、2004年のインド洋地震・津波への対応に端を発しており、それ以来、インド太平洋地域で必要とされる時に、実践的かつ効果的な人道支援と災害救援を提供してきた。
- 8 我々は、自由で開かれたインド太平洋という共通のビジョンの一環として、自然災害や地域の安定と安全に対するより広範な課題に対応するため、日米豪印が協力していくことを確認する。